

今年もアレルギー週間に実践講座を開催します。講演会とは異なり、患者の身近なテーマについて勉強していこうというものです。今回のテーマは「セルフコントロールをめざして一薬の効き方を知ろう」です。

みなさんは毎日使っている薬がどのように効いていくのか、仕組みを知っていますか？そのような仕組みを知ることによって薬の作用や副作用を理解し、安心して正しく薬を使うことができるのです。

第17回アレルギー週間協賛行事

ぜんそく・アトピー性皮膚炎実践講座と患者交流会

テーマ セルフコントロールをめざして 一薬の効き方を知ろう

ぜんそく部門 平成23年2月26日(土) 13:00~16:00

アトピー部門 平成23年2月27日(日) 13:00~16:00

場所 両部門とも NPO法人日本アレルギー友の会事務所
東京都江東区住吉2-6-5 インテグレート村上3階
(都営新宿線・半蔵門線住吉駅下車、またはJR錦糸町駅より15分、または都バス住吉駅下車徒歩3分)

参加の申込 当会の事務所まで電話またはFAX、メールにてお申し込みください

TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00)

FAX 03-3634-0850

E-mail j-allergy@nifty.com

参加費 無料
※備考 会員以外の方、ご家族の方のみでも参加できます。



NPO法人
日本アレルギー友の会
〒135-0002
東京都江東区住吉2-6-5
インテグレート村上3F
TEL 03 (3634) 0865
FAX 03 (3634) 0850
http://www.allergy.gr.jp/
mail j-allergy@nifty.com
郵便振替 00130-6-109985
編集発行人 堀内 繁

◆目次◇

成人ぜんそくQ&A②	(2)
アトピー性皮膚炎Q&A③	(3)
長く続く咳に注意(Q&A)	(4)(5)
花粉症対策	(6)
「患者だからわかる」シリーズ中国語版発行	(7)
財団法人アレルギー協会主催	(7)
中央講演会のお知らせ	(8)

今回はぜんそく部門・アトピー性皮膚炎部門ともに薬の専門家である薬剤師の方に講義をしていただきます。また、それに関連したぜんそく・アトピー性皮膚炎患者に必要な知識についてもお話しいただきますので、みなさまのセルフコントロールのための一助となることと思います。

また、参加者のみなさんに毎年ご好評をいただいているのが患者交流会です。「自分の病気のことを初めてわかってもらえた」、「息子と同じように悩んでいる人がいることがわかり少し安心した」、参加した方からはこんな充実した声を毎回いただきます。今度はあなたもぜひお気軽にお話しに来てください。

ぜんそく部門

アドバイザーに薬剤師の黒木宏隆氏をお迎えして、ご出席のみなさまとテーブルを囲み、前述の座談会・交流会を中心に、どなたでも発言できるような雰囲気、和やかに勉強し知識を深めたいと思います。それが、ほかの方々への普及につながればと思います。

第一部 座談会

- ①新薬を含む各種吸入ステロイド薬の特徴と正しい使い方を知る。
- ②ぜんそく治療薬の内服の副作用による胃の

不調(たとえばムカムカする、胸焼けがする、膨満感など)の原因と治療を患者の経験をもとに知る。

第二部 患者交流会

- ①新薬・ゾレア
- ②ぜんそく患者の花粉症対策
- ③風邪の予防法、対処法
- ④その他

アトピー性皮膚炎部門

講師 薬剤師 高木博子氏

- 第一部「薬の効き方・使い方を知ろう」
 - ①薬の役割(ステロイド外用薬が必要なわけ)
 - ②薬の効く仕組み(皮膚吸収↓代謝)
 - ③薬の種類(剤形による効果の違い)
 - ④薬の正しい使い方(正しい塗り方の説明)
 - ⑤薬の副作用(どのようなものかを知る)
 - ⑥ストレスの概念と対処法
- 薬局勤務のかたわら福祉の専門学校非常勤講師としてカウンセリングを担当している薬剤師の高木様に、薬の基礎知識からストレスの対処法まで詳しく聞けるチャンスです。

第二部 患者交流会

慢性疾患であるアトピー性皮膚炎と上手に付き合うことにより、良くなっていくことができる方が多いのです。今悩んでいる方、乗り越えてきた方、それを支える家族の方、みんなで話し合ってみませんか。きっと自分らしい生き方が見えてくると思います。

